

しがの里山だより

第1回 運営委員会報告

9月18日、午後2時から和邇文化センター・会議室で初めての運営委員会が開催されました。開催の趣旨は、今後の進め方について、幅広く皆の意見を聞いて進めようと言う点にありました。冒頭、これまでの「しがの里山や川を美しくする会」の活動内容が報告され、環境保全の立場から問題ではないかと思われる場所が、スライドで放映されました。その後、話し合いに移り、

- ①和邇公園の清掃の話
- ②川をきれいにするためのイベントの取り組み
- ③和邇川上流の汚染土壌処理施設へ、豊島の汚染土壌が持ち込まれる話

などを中心に意見交換となりました。話し合いの結果は次の通りです。

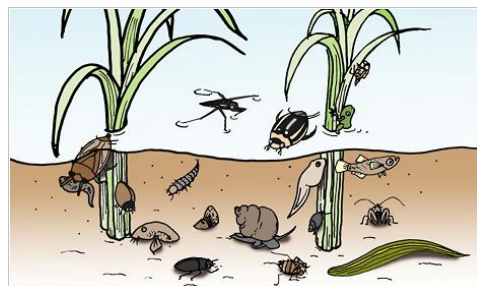
- ①については、10月30日に皆に呼びかけて和邇公園の清掃に取り組む。
- ②に関しても、同じ日に時間をずらせて、和邇川の水中生物の観察を行い、川の汚れの勉強をしよう。(対象は小学生以下のこども)
- ③に関しては、情報を集め皆に伝えていこう、と言う結論になりました。

以上



和邇公園の清掃と水生生物の観察

- テーマ：和邇公園の清掃と水生生物の観察
- 今年7月24日に引き続き第2回目の清掃活動を行います。そのうち中学校理科教師らの指導で和邇川の水生生物の観察会を行います（雨天のときは和邇公民館で琵琶湖の映画を上映します）。
- 日時：10月30日（日）午前9時~11時
- 集合場所：和邇公園駐車場
- 準備物：川の中に入れる靴、タオル、軍手、雨カップ



*詳細は後日、ビラなどで連絡。

和邇川上流の豊島・汚染土壌持ち込み処理問題について

Q1 豊島(てしま)の産業廃棄物不法投棄問題とはどのようなものですか？

A 日本最大の産廃不法投棄事件と言われてい
ます。瀬戸内海に浮かぶ美しい小島に、1981
年ミミズ養殖を名目として産廃業者が廃棄物を
野焼きしたことから始まりました。廃棄物量は現
時点では約90万トン(処分地は約7万㎡)と推
測されており、猛毒の水銀・カドミウム・鉛・ダ
イオキシンなどを含んでおり、かつてその浸出水
は海に流れ、豊島の魚は売れなくなりました。ま
た発生する有毒ガスのため、喘息患者が多発しま
した。現在、隣接の直島での焼却処理をしながら
豊島から完全に廃棄物を撤去するのに十年以上、
さらに地下などに溜まる汚染水の処理や、処分地
の現状回復など膨大
な年数がかかると思
われます。



声

子どもが小学校1年で、小さい頃から何度も和邇川(和邇公園)に遊びに行っています。真野川で魚釣りをすることもあります。和邇川はまだまだきれいな川という認識でしたが、出席した会で皆さんの問題意識を知りました。

この夏、母の故郷である高知へ行きました。私自身が小学校の頃は川も海もきれいで、従兄弟たちと遊びまわりました。川では手長エビをとって晩ご飯のおかずにしてもらいました。同じ自然に触れる楽しさを息子達に教えてあげたいと思いこの夏も訪れましたが、高知の川も当時に比べると護岸工事が進み荒れています。それでも滋賀の川より数段きれいで、子どもははしゃいでいました。

今住んでいる雄琴では近くに3つの川があるのに遊べない、きたなすぎる。…いろんな段階を経て、川は変わっていくのでしょうか。その仕組みを知り、身近な川をきれいにしていくために、自分ができたいことを知りたと思っています。

(A・I様からのメールより一部引用)

Q2 なぜ滋賀県の和邇川上流で豊島の汚染土壌を処理することになったのですか？

A 廃棄物を投棄した直下の汚染土壌(土壌溶出基準 0.01~0.3mg/l の鉛(一部はヒ素)を含む)処理の競争入札で滋賀県の(株)山崎砂利が一番安かったからです(トンあたり6,100円)。

Q3 このような施設で処理をして本当に安全なのですか？

A 本当に安全なものならばわざわざ瀬戸内海の小島から滋賀県へ持ってこなくてもよいはず
です。また、安いコストなのに高い運送費に加えて安全な処理に高額な費用をかけるのはとても
思えません。和邇川は近畿一千四百万人の水道源
である琵琶湖につながっており、この処理施設か
ら排出される有害物質(処理しても完全に除去す
ることは困難です)は、直接もしくは食物連鎖を
通して自然環境や人間の健康に長期間ののち悪
影響を与えていく恐れがあります。

まだまだ会員募集中

会員を募集しております。お知り
合いの方に広げて下さい。

正会員・賛助会員どちらでも結
構です。この会が今後発展してい
くことが、私たちの暮らしを豊か
にし、美しい自然を将来の子供た
ちに残すことにつながります。

発行者

しがの里山や川を美しくする会

代表：山田 利春

電話：594-1049